

あなたも、わたしもシガリズム
～みんなでつくろう！健康しが

滋賀+1

プラスワン

県広報誌

Vol.202

令和5年(2023年)

3・4月号

ココロ
ハズム
～しがの時間～

ものまねハンサム
コメディアン
ジェビー
JPさん



昔

初代「うみのこ」
昭和58年(1983年)に就航し、
びわ湖フローティングスクールを開校。
平成24年(2012年)第5回海洋立国推進
功労者表彰にて内閣総理大臣賞を受賞。
平成27年(2015年)には、
児童学習航海50万人乗船を達成。
平成30年(2018年)3月11日に引退。

滋賀県政150周年
写真で振り返る

**滋賀の
昔と今**

今

2代目「うみのこ」
平成30年(2018年)6月4日に就航。同年に通算で児童学習航海55万人乗船を達成。
児童が安全に、安心して学ぶことができるように施設・設備に工夫と配慮が施されている。
令和4年(2022年)8月には児童学習航海60万人乗船を達成。

特集

さあ！コロナを乗り越え
「シン・ジダイ」へ！
新たなチャレンジ「健康しが2.0」

4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です
誰もがその人らしく
生きられる社会へ
多様な性への理解を深め、
行動しよう

滋賀県デジタル広報誌

web 滋賀+1

web限定の新しい
記事を配信中！

動画もあるよ！

今回は野性爆弾ロッキーさんが「子ども県議会」に潜入取材！子どもたちの、力強い発言力と行動力にロッキーさん感動。詳しくは記事をご覧ください。



web滋賀プラスワンの会員
ポイントもご利用ください！

詳しくはサイトを
チェック！



Mother Lake
Goals



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

かつやく
第一線で活躍する
滋賀出身者に続いて
化学反応を起こしたい！

ものまねハンサムコメディアン

ジェーピー
JPさん



1983年生まれ、滋賀県東近江市出身のものまねタレント。ものまねのレパートリーは幅広く、動物の鳴き声や花火の音、映画の効果音などの人間以外の声帯模写なども得意である。



苦節19年、有名タレントのものまねでブレイクしたJPさん。東近江市で生まれ育ったシャイな少年がお笑い芸人を目指したきっかけ、こよなく愛する滋賀の郷土食やお気に入りの場所について熱く語っていただきました。

シャイだから、ものまね

僕の実家のまわりにあるのは牛舎、鶏舎、豚舎、でっかい雪野山古墳くらい。動植物に囲まれた、いい意味での田舎でした。人間の言葉が通じない牛に「モーツ」とまねすると、反応してくれた。それが僕のものまねの原点なんです。

僕にとってもものまねはコミュニケーションツールであり、友だちをつくるきっかけでした。かつこよさや足の速さで目立ってない「おとなしい少年」だったから、美術の先生とか動物とか、誰もやらないようなものまねをした。それがそのまま仕事になったんですよ。

皆さんもやりたいことに向かって、とりあえず一歩踏み出してみてください。

愛してやまない郷土食

最後の晚餐は鮒ずしのお茶漬に決めているくらい、鮒ずしが好き。熱々のご飯に、僕が特に好きな鮒ずしの尻尾をのっけて、かつお節をパラパラ、醤油をチョンチョン、お湯をかける。この食べ方が大好き！東京にいるときも「こ滋賀」で鮒ずしを買っています。

ぜいたく煮※も大好き！滋賀の名産品をどこかお土産として作ってくれたらいいのになと思っています。

滋賀の推しスポットは、子どもの頃に家族でよく行った妹背の里と希望が丘文化公園。八幡堀近くの近江八幡市立歴史民俗資料館もいいですよ。僕の父親が働いています(笑)。

滋賀発のムーブメント

今、滋賀の時代が来てますよね！西川貴教さんをはじめ、漫画家の森田まさのりさん、数多くのお笑い芸人…滋賀出身者が第一線でババーンとムーブメントになっています。僕ももっと有名になって滋賀に恩返しをしたい。

滋賀の力になりたいです！

※ぜいたく煮…漬物の「たくあん」を水に漬け塩を抜き、それを煮物にした郷土料理のこと。

発酵王国・滋賀の 風土が育むチーズ チーズ職人つや子さん(竜王町)

鮎(あな)ずしなど独特の発酵文化が息づく滋賀で、全国で評判のチーズが作られているのをご存じですか? 竜王町のチーズ職人・つや子さんの解説でおいしさの秘密に迫ります。

近年、おいしくて健康にいと発酵食品が注目されています。チーズもその一つ。発酵の力で作られています。

酸凝固(さんこうこ)の場合、原材料はミルク、素材を固めるための乳酸菌(りゅうさんきん)と塩のみ。味の決め手はミルクのおいしさです。日々変化するミルクの状態を見極める職人の感覚が求められます。

竜王(りゅうおう)の田んぼ(いなぼ)の稲(いね)わらと地下水(くわすずい)で育てられた牛(うし)のミルクで作ったチーズは、角のないまろやかな味わい。滋賀(しや)で育まれた地酒(ぢしう)や和(わ)の食材(じしょくざい)によく合います。ぜひお試(し)しを!

おすすめポイント!

チーズを作る時に出る水分・ホエーも栄養価(えいようか)たっぷり。廃棄(はいせき)しない活用法(かつうぽう)を考えています。



チーズができるまで

ミルクに乳酸菌(りゅうさんきん)を加えて一晩(いちばん)発酵(はっこう)させる→水分(すいぶん)量を調整(てんせい)しつつ容器(ようき)に分ける→塩(しお)を加えて水分(すいぶん)を抜く→熟成(じよくせい)庫(こ)で2~3週間(しゅうかん)熟成(じよくせい)すると完成(せいせい)! チーズによって使う菌(きん)の種類(しゆるい)や熟成(じよくせい)方法(はうほう)を変えるなど、様々な製法(せいぽう)が。



松の司 酒粕(しよか)フロマーージュ

地酒とコラボ!

地元の酒蔵(しよくら)の酒粕(しよか)を「つやこフロマーージュ」にまとわせて熟成(じよくせい)。酒粕(しよか)の上品(じゆんぴん)な甘み(あまみ)で、チーズ初心者(しよしんそ)も食べやすい。



和の食材に 合わせて

ミルク(みるく)ーなチーズ(ちーず)はわさび(わさび)醤油(しゆゆ)や柚子(ゆず)胡椒(こしょう)、味噌(みそ)などを添(そ)えるのがおすす(す)め。日本酒(にっぽんしよ)にもよく合(あ)います。



チーズ職人
つや子さん

動画(うゑ)でうおーたん(うゑたん)と一緒に先生(せんせい)からもっと詳しく(くわしく)教わ(お)ろう!



もくじ Contents

- ◆ ココロ ハズム ~しがの時間~ JPさん(ものまねハンサムコメディアン) 2
- ◆ ズームしが! ~近江(きんけい)の魅力を深掘(ふかほ)り~ 発酵(はっこう)王国(おうこく)・滋賀(しや)の風土(ふうど)が育(よ)むチーズ(ちーず)(チーズ職人(ちーずしやくじん) つや子さん) 3
- ◆ さあ! コロナ(ころな)を乗り越(よ)り越(こ)え「シン・ジダイ」へ! 新(あたら)しいなチャレン(ちやれん)ジ「健康(けんこう)しが2.0」 4-7
- ◆ ふれあいプラスワン 4月(しがつ)2日(にち)~8日(にち)は「発達(はつたつ)障害(しやうがい)啓発(けいはつ)週間(しゅうかん)」です 誰(たれ)もがその人(ひと)らしく生(い)きる社会(しゃかい)へ ... 8-9
- ◆ ふれあいプラスワン 多(た)様な性(せい)への理(り)解(かい)を深(ふか)め、行(い)動(どう)しよう 10-11
- ◆ 滋賀(しや) 暮(く)らしの情(じやう)報(ほう)局(きよく) / 県(けん)政(せい)150周(しゆ)年(ねん)記(き)念(ねん)事(じ)業(ぎやう)「50年(ねん)後(ご)の滋賀(しや)への手紙(てがみ)」 12-13
- ◆ 滋賀(しや)県(けん)デジ(で)タル広(ひろ)報(ほう)誌(し) web滋賀(しや)プラス1を、ご存(ぞん)じですか? / 家(い)きんを飼(か)っている方(かた)へのお願(ねが)い!! 14
- ◆ コラム「みんな(みんな)でプラスワン!」 / ほっとサロ(さろ)ん 15

【滋賀(しや)県(けん)の人口(じんぐう)と世帯数(せたいすう)] (推計(すいけい)値(ち))

令和(れいわ)5年(ねん)1月(げつ)1日(にち)現在(げんざい)(前月(ぜんげつ)からの増減(ぞうげん))

- 人口(じんぐう)総数(そうすう) / 1,408,499人(△892)
- 外国(がいこく)人(にん)口(こう) / 32,196人(△84)
- 男性(なんせい) / 694,688人(△522)
- 女性(にょせい) / 713,811人(△370)
- 世帯数(せたいすう) / 600,038世帯(△492)

さあ!

コロナを乗り越え

「シン・ジダイ」へ!

新たなチャレンジ「健康しが2.0」

「変わる滋賀 続く幸せ」の実現に向け、滋賀県はコロナを乗り越えて「シン・ジダイ」へ、「健康しが2.0」へ取り組みをバージョンアップ。県民一人ひとりが豊かさや幸せを実感できるように、子どもをあらゆる政策の中心に置く「子ども・子ども・子ども」、「ひとつり」など、施策に5つの柱と1つの重点テーマを据えて新たなチャレンジを始めます。



詳しくはこちらをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策

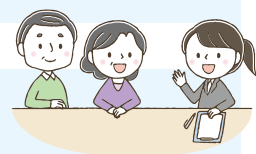
相談体制の確保

- 新型コロナウイルス感染症に関する相談
- SNSを活用した各種相談窓口の運営 など



生活困窮者対策

- 生活困窮者・世帯への相談・生活支援
- ひとり親家庭への職業訓練支援 など



徹底した感染拡大防止策と医療提供体制の確保

- 病床の確保 ● 宿泊療養、自宅療養体制確保
- 陽性者登録センターの運営
- 医療費などの負担 など



経済対策

- 県内中小企業などへの資金繰り支援 など



未来を見据えた施策の柱

その
1

子ども・子ども・子ども

■ 子どもまんなか5つの方向性



1

あらゆる政策の中心に子どもを置く

2

子ども・若者の声を反映する

3

社会全体で子ども・若者の育ちや学び、暮らしを支える環境をつくる

4

民間との協働を進める

5

市町とともに

子どものために、子どもとともにつくる県政を目指します。

■ 子どもが生まれる前からの切れ目のない支援

「出会い」から支援を行い、子どもを安心して生み育て、健やかな育ちを支える社会をつくります。



妊娠前
結婚

妊娠期

誕生

乳幼児期

学齢期

出会い創出、妊娠・出産の相談支援

子育て家庭への支援

幼保小接続・学びの支援

母子保健と子育て支援の一体的推進

子育てを応援する地域づくり





■ 困難な環境にある子ども・若者の支援

困難な課題を抱える子ども・若者たちを社会全体でケアし、フォローしていく環境をつくります。

子どもたちが抱える「困難さ」

不登校

家庭環境

虐待

障害・医療的ケア



ヤングケアラー

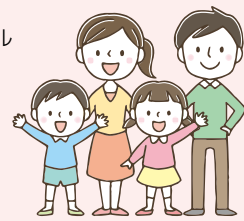
ケアリーバー

施設などで暮らす

外国籍

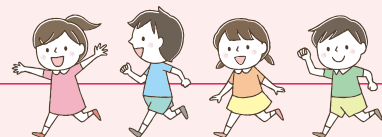
困難な状況の子どもたちをサポート

- スクール・カウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる対応強化
- 「届ける家庭教育支援」地域活性化事業
- 医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援
- 外国人児童生徒の学びの支援
- ヤングケアラー、ケアリーバー支援 など



■ 子どものこころとからだの健康づくり

豊かな心を育み、健やかな体を育成します。



- 人と人が豊かにつながる学校づくり共創事業
- 生きぬく力の礎育み事業
- 「こどもとしょかん」の検討
- すべての子どもに本が届く滋賀を目指す
- 人権教育指導力育成事業
- 人権教育研究推進事業
- 家庭教育力の向上
- 子ども読書活動推進事業

子どもたちの健やかな心身の育成

「生きる力」を育む

豊かな心を育む



健やかな体を育成する

安心して力を発揮できる環境をつくる

- 学校保健の機能強化
- 子どもたちの健康課題に専門職が連携して支援
- 教職員の資質向上

- 楽しく運動推進事業
- リズムトレーニングなどの研修会を実施
- 楽しみながら体力、運動能力の向上を図るとともに、運動の習慣化につなげる
- 幼児期からの取り組みとして推進
- 子どもの体力向上推進事業
- 子どもたちが運動やスポーツに興味をもって取り組めるよう、実践授業研究などを進める

多様な学びの場をつくる

若者の活躍の促進

子ども・若者の声を政策に生かす

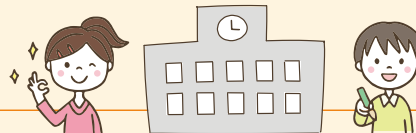
その
2

ひとづくり

■ 笑顔あふれる学校づくり

個別最適な学びを推進し、子どもたちの「学ぶ力」を向上させます。

- 個々の学びの把握と検証
- 「読み解く力」の定着・浸透
- 1人1台端末を効果的に活用した学びの推進
- インクルーシブ教育システムの構築



個別最適な学び ▶ 確かな学力

指導の個別化 学習内容の確実な定着

学習の個性化 学習内容の理解を深め、広げる

■ 滋賀県立高専の設置準備

滋賀県初の高等専門学校(高専)の設置準備を加速化します。

- 施設整備、詳細カリキュラム、校長などの選任・教員募集、地域・産業界との共創

令和10年春開校へ
関係機関が連携して
設置を目指します。

滋賀発で、
次代の社会を支える
人材を育成!



■ 滋賀の産業を担うひとづくり

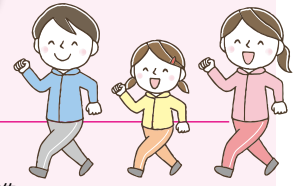
- 商工業/多様な働き方を実現し、誰もが学び、成長し、活躍する社会の実現を目指します。
- 農水産業/担い手の経営力の向上と多様な人材の確保・育成により農林水産業を守ります。
- 林業・木材産業/豊かな森林を未来に引き継ぐため、川上から川下まで担い手を確保・育成します。
- 琵琶湖漁業/生産性の向上と湖魚の需要拡大で、夢のある産業へと進化します。
- 医療福祉/県の高齢者人口がピークを迎える令和27年に備え、医療福祉を支える人材を確保します。



その
3

こころとからだの健康づくり

■ 幸せがずっと続く「健康しが」の実現



すべての県民が元気で健やかな生活を送ることができる滋賀を目指します。

●生涯を通じた健康づくり
健康寿命の更なる延伸に
向け、生涯を通じた「こ
ころ」と「からだ」の健康
づくりを推進します。

みんなでつくる
「こころとからだの
健康づくり」事業

「地域包括
ケアシステム」の
深化・推進

●農からはじめる「食べる健康」の推進

「近江の野菜」と「近江の茶」による「健康しが」を実現します。

●人と動物の豊かな関わりの推進

人と動物(犬、猫)が適正に関わることで人にも動物にも
優しい社会を醸成します。

さらなる健康寿命の延伸

■ 魅力ある公園づくり

人とひと、自然、地域とを結びつける“公園”の持つ価値・魅力をさらに高めます。



地域との
つながり

身近な
自然との
ふれあい

人と
ひととの
つながり

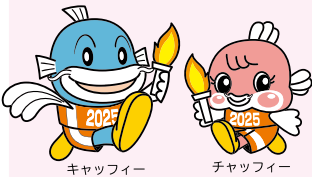
●自然公園の魅力向上
(自然公園面積の割合が日本一)
●都市公園の魅力向上

●矢橋帰帆島公園活性化

●希望が丘文化公園活性化

●びわこ文化公園都市活性化

■ 誰もがスポーツと文化芸術を楽しめる環境づくり



- 国スポ・障スポ大会の開催準備とシンボルスポーツなどのレガシー創出
- 障害者スポーツ共生社会の実現(障害者スポーツの理解促進・普及)
- 滋賀スポーツコーチ養成・活用システムの構築
- 誰もが楽しめる文化芸術と文化観光の推進(資源を生かして発信)
- 文化財の保存・活用推進事業(文化財を確実に継承)



美術館でのアート体験

その
4

安全・安心の滋賀づくり

■ 自分らしさが大切にされ、誰もが活躍できる共生社会づくり

すべてのひとが安全・安心に暮らすことができる社会を目指します。

●時機を逃さない共生社会づくりの取り組み

令和7年度国スポ・障スポの開催を見据え、時機を逃さず重点的に共生社会づくりに取り組む。

●つながりを大切にしたいセーフティネットづくり

コロナ禍で傷んだ様々なつながりを再構築し、
誰もが安全・安心に暮らせる社会をつくる。

支援機関の
つながり

人と人との
つながり

●人権尊重の社会づくり

共生社会づくりに向けた人権啓発・各種連携強化。



■ 誰もが安全・安心に暮らせる基盤づくり

●地域公共交通の維持・強化

- 地域特性に応じた交通ネットワーク構築事業
- 鉄道の維持・活性化のための利用促進事業
- 輸送力・利便性向上整備事業
- 近江鉄道線再構築事業
- 地方バスなど対策費事業
- 「滋賀地域交通ビジョン」策定

▶「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる」滋賀の実現!

●社会インフラの整備・維持管理

- 道路ネットワークの整備・強靱化
- 防災対策の加速化
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換
- 高時川濁水対策(調査・検討)
- グリーンインフラに係る取り組みの実施

●「健康しが」安全・安心アプリ導入

防犯情報発信機能などの高度化を図り、県民の行動変容を促すことで安全・安心な滋賀を実現



グリーン・デジタルによる経済・社会づくり ～コロナからの反転攻勢～



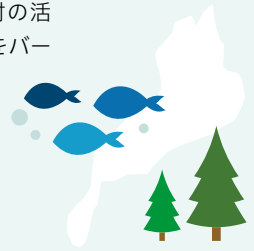
CO₂ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦

- CO₂ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換
- 県における率先実施
- 自然環境と調和するCO₂を排出しない地域づくり
- 革新的なイノベーションの創出
- 資源の地域内循環による地域の活性化
- CO₂ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出

琵琶湖をとりまく環境の保全・再生と自然の恵みの活用・魅力発信

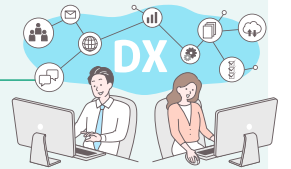
- 生物多様性の保全
30by30目標*を超える目標を設定し、生物多様性の保全を図る
- マザーレイクゴールズ(MLGs)の推進
MLGsの更なる浸透を図るとともに、主体的に動く人づくりにつなげるため、様々な環境問題を学ぶ場や機会をつくる
- サーキュラーエコノミー(循環経済)の推進
あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、サーキュラーエコノミー(循環経済)への移行を図る
- やまの健康2.0
森林の適正管理、林業の成長産業化、農山村の活性化が一体となった「やまの健康」の取り組みをバージョンアップ
- 農業のグリーン化・スマート化
持続的で生産性の高い「儲かる」農業の実現
- “三方よし”の「近江牛生産」の推進
「選ばれる近江牛」づくりのチャレンジ

*30by30目標とは：2030年までに陸と海の30%以上を「保護地域」または「OECD」として保全しようとする目標のこと。



DXの推進

デジタル社会の形成に関する施策を迅速かつ重点的に推進し、暮らしをより豊かにする新たな価値創造の実現を目指します。



- 暮らしのDX** 全ての県民が健康で快適な暮らしと、環境に配慮した豊かな生活を実感
- 産業のDX** 高付加価値化や省力化、生産性・安全性の向上による持続可能な産業の実現
- 行政のDX** 時間や場所を問わないワンストップで県民本位の行政サービスの実現
- 基盤づくりひとづくり** 誰もが利用できる、参加できる環境の整備とデジタル人材の育成・活躍

重点テーマ

北の近江振興

北の近江(長浜市、高島市、米原市)振興プロジェクト



総合プロジェクト	① 住み続けたい、 還りたい北部へ しがのふるさと応援隊事業	② 挑戦する若者が 集う北部へ 「北の近江振興」高校魅力化推進 プロジェクト事業	③ 訪れたい北部へ 北の近江振興プロジェクト コーディネーター配置
特別プロジェクト	北の近江振興プロジェクト推進補助金 ● 総合プロジェクトとの相乗効果を生み出す市の主体的な取り組みを支援 ● 目標に向けた北部3市のチャレンジングな取り組みを支援		
連携	北部地域において総合プロジェクトの実施検討をする中で、多様な主体と連携・協働		

ロードマップイメージ





4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です

誰もがその人らしく生きられる社会へ

滋賀県では、「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を制定し、障害のある人もない人も誰もがその人らしさを認め合いながら共に生きる社会の実現を目指しています。

しかし、障害に対する理解不足や偏見から、障害のある人に不適切な対応が行われるケースは少なくありません。障害の特性によっては、下のイラストのような行動をとることもあります。また、本人の意思とは関係なく突発的な体の動きや発声を繰り返すこともあります。

外見からはわかりにくい障害のために、誤解を受けたり生きづらさを感じている：そんな人があなたのそばにもいるかもしれません。

一人ひとりが違うということを知り、違いを認め合うことがその人らしく生きられる社会へとつながります。

障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい社会を築いていきましょう。

障害による様々な行動には、理由があります

ぴよんぴよんぐるぐる



不安・緊張の解消のため、あるいは感覚を楽しむために何度も同じ動きを繰り返す。

うろうろ



気持ちが落ち着かない時、歩き回って平静を保とうとする。

ぶつぶつ



趣味の世界に浸ったり、気持ちの整理をするために独り言を言う。

大きな声



先の見通しが立たず不安になり、自分の声で落ち着こうとして大きな声を出す。

いつもの場所



いつもの場所だと安心できるので、特定の場所にこだわる。

集める・触る・整頓する



ものを集めることにこだわる場合、デザイン豊富なチラシは魅力的。



INTERVIEW

ひとりひとりが違うのが当たり前

発達障害には様々な特性があり、一人ひとりあらわれ方が違います。そのひとつに、その場の雰囲気、に合わない行動をとることがあります。例えば、講演会など大勢の人が集まって話を聞いている時に、突然、飛び跳ねたり、大声を出したりします。ただそれには、不安や緊張の高まりなど、本人なりの理由があり、そのような行動をとっているのだと知っていただきたいです。

また、抽象的なことが苦手です。「ちょっと待って」ではなく、「5分待って」など具体的に伝えたり、予定は口頭ではなく、紙に書いて伝えたりするなど、一人ひとりに合わせたり少しの配慮でお互いにストレスなく物事がスムーズに進みます。

おおらかさのある社会に

発達障害の人が自分の特性を知り「自分自身で配慮することができるようになる」ことも大切だと考えています。苦手なことは誰にでもありません。その苦手な部分をほかの誰かに補ってもらって生きているはず



滋賀県発達障害者支援センター 所長 松田裕次郎さん

悩んでいる人はまず相談を

みななとうまくいかないなど悩んでいる人は、適切な助言をもらって情報を整理できるようにすることで周囲との関係がうまくいく、その人の持っている強みを発揮しやすくなることもあります。まずは身近な相談窓口で相談されてはいかがでしょうか。

園や学校、職場でうまくいかないと感じる時は、市町の相談窓口などへ!

相談したいことがあれば、お住まいの市町相談窓口までご連絡ください。



↑相談窓口一覧はこちら

滋賀県 発達障害関係

知っていますか? 合理的配慮

障害のある人から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合に、負担が重くない範囲で配慮を行うことをいいます。その場に応じてできる対応を一緒に考えることが大切です。

内閣府 障害者の差別解消に向けた理解促進ポータルサイトはこちらから→



『滋賀県 障害者差別のない共生社会づくり条例』

滋賀県では、全ての県民、事業者の皆さまに障害のある人に対する差別を禁止するとともに、合理的配慮の提供を求めています。

条例について、詳しくはこちらから→



共生社会の実現に向けて 私たちも取り組んでいます 一人ひとりが気づく、知る、ちがいを認めて共に暮らす。 滋賀県 共生条例 検索

毎年 4月2日は、世界自閉症啓発デーです。

本県では彦根城のブルーライトアップなどを予定しています。日本では4月2日～8日を発達障害啓発週間としており、発達障害について知っていただくことで、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目指しています。

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会 世界自閉症啓発デー



「ヘルプマーク」を知っていますか?

外見ではわからない困難を抱えた方(内部障害、人工関節、妊娠初期、知的障害、発達障害など)が、援助を得られやすくするためのマークです。困っているようであれば声をかける、席をゆずるなど、思いやりのある行動をお願いいたします。





多様な性への理解を 深め、行動しよう

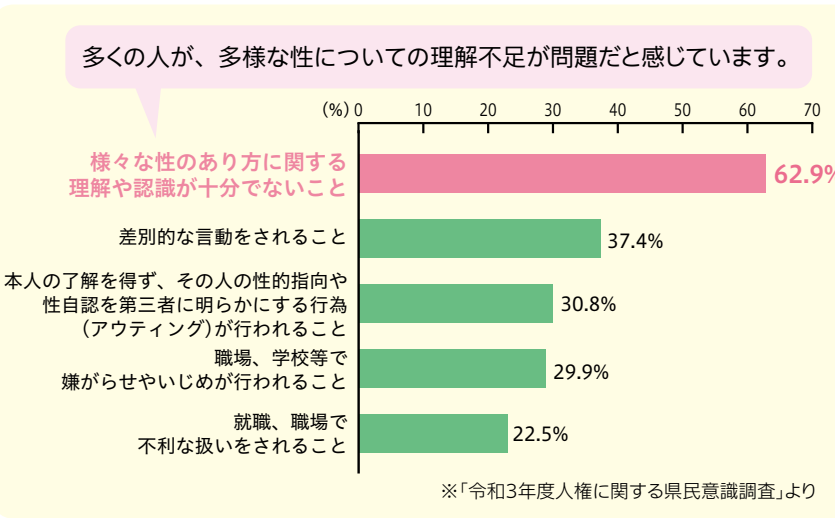
性のあり方はさまざま

「ALLY」を知っていますか？

性的指向 (好きになる性)	Lesbian レズビアン (女性で女性が好きな人)
	Gay ゲイ (男性で男性が好きな人)
	Bisexual バイセクシュアル (同性も異性も好きになる人)
性自認 (こころの性)	Transgender トランスジェンダー (からだの性と心の性が一致せず、からだの性に違和感を持つ人)

性のあり方は「からだの性」だけでなく、「性的指向」や「性自認」によって様々です。「性的指向」とはどのような性の人を好きになるかという「好きになる性」のこと。「性自認」とは自分の性をどのように認識しているかという「こころの性」のことをさします。

※LGBT以外にも、男女のどちらにも恋愛感情を持たない人、自分自身の性が決められない人・分からない人など、様々な人がいます。こうした人を合わせて「LGBTQ」や「LGBTQ+」と表現されることもあります。



Q

LGBTなどに関する事柄で、人権上、特にどのようなことが問題だと思えますか？(3つまで回答)

「ALLY」とは 英語で「支援者」「仲間」を意味し、LGBTなどの当事者のことを理解し、支援しようとする人のこと。性的指向や性自認について正しい知識を身につけ、誤解や差別的な言動に対して見て見ぬふりをせず、指摘するなどの行動をとる、当事者にとって心強い存在といわれています。

民間の調査では、「LGBT」という言葉の認知率が約80%※1であるのに対して、「ALLY」の認知率は約8%※2。「ALLY」についてはまだ広く知られていません。

「ALLY」になるには どうすればいいの？

「これをすればALLY」といった定義はありませんが、下の表のような言動を実践することで当事者に寄り添い、支えることができます。

ALLYとして今日からできること

ほかの人から見て自分がALLYであることが分かるもの(6色のレインボーグッズなどを身に付ける。

当事者をからかうような言動を見かけたら、「よくないこと」と指摘する。

性の多様性について本や研修で学ぶ。

人口の約9%がLGBTなどの当事者である※3ともいわれています。自分の身近にも当事者がいると考え、自分のできることから始めてみましょう。

近年「LGBT」という言葉が広く知られるようになりました。その一方で、多くの人が多様な性についての理解不足が問題であると感じています。

※1・3…電通ダイバーシティ・ラボ「LGBTQ+調査2020」より
 ※2…P&Gジャパン合同会社「LGBTQとアライ(理解者・支援者)に関する全国調査」より



フライ ALLY バッジについて
知りたい方はこちら



HP <https://www.pref.shiga.lg.jp/g-net/>



INTERVIEW

特に意識していなかったジェンダー問題を身近なことに感じ、社会について考えるようになりました。

社会を変えていくには、一人ひとりが意思表示をしていくことが大切！

ジェンダー平等のためには、性別にかかわらずみんなで取り組む必要があると思います。



高校生や社会人の参加者の意見も聞けて、ジェンダー問題について視野が広がりました。

ジェンダー問題やLGBTQに関心があって参加しました。

なぜ参加を？
参加して感じたことは？

県立男女共同参画センター「G-NETしが」では、若い世代の皆さんがジェンダーに関する様々なテーマについて話し合う「ジェンダー平等ミーティング」を開催しています。

私たちは考え、 行動しています

今年度は、ミーティングに参加した大学生の有志とともに、滋賀の様々な大学の学生が参加する団体「くれよん」を立ち上げ、小学校で出前講座を行いました。社会人になっても活動を持続してほしいと考えています。

問 滋賀県立男女共同参画センター「G-NETしが」
(近江八幡市鷹飼町80-4)
TEL 0748-37-3751 e g-net@pref.shiga.lg.jp

活動の継続を

ジェンダー平等について関心のある若者同士が、年齢や学校の枠を超えて出会うきっかけとして「ジェンダー平等ミーティング」は貴重な場です。ミーティングを通して、それぞれの意見を発言し、異なる考えを聞いて、まとめて発表できるようにしてきましたと感じています。次の課題は、いかにして実践や活動につなげていくかです。

貴重な出会いの場



ジェンダー平等ミーティングアドバイザー
聖泉大学 人間学部
富川 拓 准教授

意見交換から
実践へ！

貸し出し
配布無料

「人権について学びたい」とお考えの皆さんへ

多様な性について
学べる教材も
あるのだ！



■ 人権啓発資材 (紙芝居やクイズなど)

■ 学習教材 (冊子・リーフレット)

人権をテーマにした研修会などで活用いただける啓発資材の貸し出しや、様々な人権問題について学べる教材の配布を行っています。詳細はホームページをご確認ください。

紙芝居・クイズなどの
貸し出し



ジケンセンター 貸出

冊子・
リーフレットの配布



ジケンセンター 学習

■ 人権教育 DVD

自治会や企業、学校などで活用いただける視聴覚教材を多数そろえています。滋賀県学習情報提供システム「におねっと」から検索・予約いただけます。

問 県教育委員会事務局生涯学習課

TEL 077-528-4652 FAX 077-528-4962

HP 滋賀県学習情報提供システム「におねっと」

<https://www.nionet.jp>



におねっと

お問合せ 県庁人権施策推進課

TEL 077-528-3533

FAX 077-528-4852

e cf00@pref.shiga.lg.jp

●お問い合わせ/電話・FAXの場合 ……各記事の番号へ
●県庁各課への郵便(はがき)
……〒520-8577(住所不要) 〇〇〇〇課あて

説明会

令和5年度 点訳・音訳ボランティア養成講習会事前説明会

県立視覚障害者センターでは、視覚に障害のある方々に点字や声で情報を伝える点訳・音訳ボランティアの養成講習会を開講します。

これに先立ち、ボランティア活動の内容や講習会のスケジュール等についての説明会を開催しますので、関心のある方はぜひご参加ください。

- **会場** 県立視覚障害者センター (彦根市松原1-12-17)
- **開催日時** 4月12日(水)、4月13日(木) 10時~12時
※内容は同じです。どちらかに参加を。
- **参加資格** 点訳・音訳ボランティアに興味のある方で、受講後は当館のボランティアとして活動できる方
- **定員** 各25名
- **申込方法** 電話・FAX・Eメール
- **申込締切** 4月10日(月)
- **受講料** テキスト代等がかかります

問 滋賀県立視覚障害者センター

TEL 0749-22-7901 FAX 0749-22-7890

e shice2@smile.ocn.ne.jp

HP https://shigashisho.com



詳しくはこちら



募集

新しい琵琶湖文化館にメッセージを届けよう!

休館中の琵琶湖文化館では、収蔵品を県内各地で公開する「地域連携企画展」を開催しています。また滋賀県は令和9年度(2027年度)に新しい文化館の開館を目指しています。

安土城考古博物館で開催する地域連携企画展では、新しい文化館へ二つのメッセージを募集します。

- **投票**: あなたが思う「新しい琵琶湖文化館でも見たい作品」はどれですか?
- **募集**: 新しい琵琶湖文化館での「展覧会へのご意見」をお知らせください!
- **応募方法** 県立安土城考古博物館(近江八幡市安土町下豊浦6678、TEL 0748-46-2424)企画展示室の特設ブース内にてご記入ください。ご記入いただいた用紙は、特設ブース内で掲示します。
- **募集期間** 4月2日(日)まで 月曜休館
- **関連イベント** 座談会「新しい文化館と収蔵品を語る」/日時: 3月19日(日)13時30分~15時
- **入館料** 大人600円(480円) 高大生360円(290円) 小中学生無料
※障害のある方および県内在住65歳以上の方は無料※ただし証明書の提示が必要。
※()は20名以上の団体料金

問 県庁文化財保護課

文化財活用推進・新文化館開設準備室

TEL 077-522-8179(琵琶湖文化館)

HP https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/329291.html



詳しくはこちら



イベント・講座

懇話会

第4回死生懇話会の開催について

滋賀県では、誰もが避けられない「死」とどう向き合い、そこから限りある「生」をどう捉えるか、そういった根源的なテーマを真正面から考えることで、より豊かに生きるためのヒントを得ようと、令和2年に「死生懇話会」を設置し、「死」を暮らしや地域の中から遠ざけず直視して、生きていることを大切にすることなどについての議論をこれまで3回にわたって交わしてきました。

今回はその第4回目として、様々な「死」や「生」について考えながら、議論を深めていきたいと思います。皆さまのご聴講を心よりお待ちしております。

- **日時** 3月18日(土)13時30分~16時
- **会場** 滋賀県庁新館7階大会議室(大津市京町4-1-1)
- **出演者** 國森 康弘さん(ゲストスピーカー/写真家・ジャーナリスト)/打本 弘祐さん、越智 眞一さん、楠神 渉さん、藤井 美和さん、ミウラ ユウさん(死生懇話会委員)/上田 洋平さん(死生懇話会ファシリテーター)/滋賀県知事 三日月 大造
- **定員** 【会場】100名(先着) / 【オンライン】500名(先着)
- **申込方法** 封筒/はがき(往復はがき含む)/電話/FAX/メール/しがネット受付サービス
- **申込締切** 3月15日(水)
- **参加費無料**

問 県庁企画調整課

TEL 077-528-3312 FAX 077-528-4830

e kikaku02@pref.shiga.lg.jp

HP https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/316588.html



詳しくはこちら



スマイルカードを利用して、家族のふれ合いや結びつきを深めてみませんか。

キリトリ

キリトリ

利用できる県立施設

- 醒井養鱒場
- 安土城考古博物館
- 琵琶湖博物館
- 美術館
- 陶芸の森陶芸館

スマイルカード 滋賀県



「家族ふれあいサンデー」
「体験学習の日」は、
スマイルカードで

無料開放!

令和6年3月末まで有効

ご利用の際にはこのカードを入館(場)時にお示しください。
※常設展示のみ無料。(陶芸館のみ企画展示も無料)

家族ふれあいサンデー

- 対象日 毎月第3日曜日
- 対象者 県内に在住する親子・家族連れ

問い合わせ先
滋賀県教育委員会事務局
生涯学習課
TEL 077-528-4654

体験学習の日

- 対象日 毎週土曜日
- 対象者 県内に在住または県内に在学・在園している18歳未満の子ども



におねっと https://www.nionet.jp/

県立施設を無料開放しています!
〜家族・子ども体験に活用ください〜
※スマイルカードに代わるものとして、滋賀県内に在住または在学・在園していることがわかるもの(運転免許証、健康保険証、生徒手帳など)をご提示いただくと同様のサービスが受けられます。※切り取って裏面を貼り合わせればカードになります。

お知らせ 献血事業への協力をお願い

最近、献血にご協力くださる方が減少しています。輸血を必要とする患者さんのためにも、献血にご協力いただけますようお願いいたします。



また、献血バスの配車にご協力いただける事業者を募集しています。

問 県庁薬務課 TEL 077-528-3631

問 滋賀県赤十字血液センター
TEL 077-564-5523

HP <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/shiga/index.html>



お知らせ 意図しない110番通報にご注意ください

Android™12以降を搭載したスマートフォンには、電源ボタンを5回以上すばやく押すことで、110番などの緊急通報ができる機能が新たに追加されています。

この機能により意図せず誤発信してしまう可能性がありますので、設定状況を確認のうえ、適切な利用をお願いします。

〈設定状況の確認方法〉

設定 → 緊急情報と緊急通報 → 緊急SOS → 緊急通報SOSの使用
 ※機種によって異なる場合があります。

問 滋賀県警察本部 通信指令課
TEL 077-522-1231(代)

お知らせ

お知らせ 消費生活センター開所日変更のお知らせ

令和5年4月から滋賀県消費生活センターの開所日を下記のとおり変更しますので、お知らせします。

【変更前：令和5年3月まで】

月曜日～土曜日 9時15分～16時
 (祝日、年末年始を除く)

【変更後：令和5年4月から】

月曜日～金曜日 9時15分～16時
 (祝日、年末年始を除く)

※土曜日、日曜日は閉所します。ただし、消費者ホットライン「188(いやや)」は、国民生活センターの休日相談につながります。なお、インターネット消費生活相談は、曜日や時間を問わずご相談いただけます。(しがネット受付サービスで受付、3営業日以内にメールで回答) HP <https://www.pref.shiga.lg.jp/shohi/sodan/106095.html>

問 滋賀県消費生活センター
TEL 0749-27-2234

HP <https://www.pref.shiga.lg.jp/shohi/>

詳しくはこちら

ネット相談はこちら



お知らせ 衆議院小選挙区の区割りの改定について

公職選挙法の一部を改正する法律(区割り改定法)が令和4年12月28日に施行され、同日より滋賀県の衆議院小選挙区の区割りが改定されました。新しい区割りは、施行の日以後、初めてその期日を公示される衆議院議員総選挙から適用されます。(この総選挙以前に行われる補欠選挙は従来の選挙区によって行われます。)

問 滋賀県選挙管理委員会事務局

TEL 077-528-3239(選挙事務局直通)

HP <https://www.pref.shiga.lg.jp/senkyo/kokusei/syuuugiin/328968.html>

詳しくはこちら



旧選挙区	選挙区の区域
第1区	大津市・高島市
第2区	彦根市・長浜市・東近江市(旧愛知郡愛東町・湖東町の区域)・米原市・愛知郡愛荘町・犬上郡豊郷町・犬上郡甲良町・犬上郡多賀町
第3区	草津市・守山市・栗東市・野洲市
第4区	近江八幡市・甲賀市・湖南市・東近江市(旧八日市市・旧蒲生郡蒲生町・旧神崎郡永源寺町・五個荘町・能登川町の区域)・蒲生郡日野町・蒲生郡竜王町



新選挙区	選挙区の区域
第1区	大津市・高島市
第2区	彦根市・長浜市・近江八幡市・東近江市・米原市・蒲生郡日野町・蒲生郡竜王町・愛知郡愛荘町・犬上郡豊郷町・犬上郡甲良町・犬上郡多賀町
第3区	草津市・守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市

県政150周年記念事業
 「50年後の滋賀への手紙」募集中!



応募締切

2023年3月24日(金)

※郵送の場合は当日消印有効

詳しい
応募方法は
こちら



- 50年後の滋賀への想い、叶えたい夢を込めた「手紙」「写真」「絵」を募集します。
- 寄せられた手紙などは、滋賀県政200周年の記念事業で活用します。どなたでも、何枚でもご応募いただけます。

応募方法

郵送

滋賀県のホームページの応募用紙をダウンロード、または必要事項(任意の様式でも可)を記入のうえ、下記まで郵送してください。

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1
 滋賀県 総合企画部 企画調整課
 50年後の滋賀への手紙 担当

WEB

しがネット受付サービスまたは、
kikaku01@pref.shiga.lg.jp まで
 50年後の滋賀への手紙

しがネット受付サービスは
 こちら



滋賀県デジタル広報誌

web 滋賀+1 プラスワン

を、ご存じですか？

webでも滋賀の
情報を発信中！

web滋賀
プラスワンは
こちらから！



県政情報をより多くの方にお届けするため、今年度より「web滋賀プラスワン」を開設。ここでしか見られないweb限定記事や動画、お得な会員ポイントなど内容・機能も充実！お手持ちのスマホやタブレットなどで、ぜひご覧ください。

学生が滋賀県の取り組みを取材する「学生企画」も好評配信中！

ここでしか見られない
web限定記事や動画

滋賀ゆかりの方が滋賀県の取り組みをレポート！3回目はやっせい爆弾ロッシェーさんが「子ども県議会」を突撃取材！



▶1回目は俳優の八木莉可子さんがシガリズム体験をレポート。

◀2回目はひよっこりはんさんが滋賀ジビエを体験。

動画もあるよ！

web滋賀プラスワンの会員
ポイントもご利用ください！

お得に
使える！

県内のお店や施設で使える
お得なクーポンと交換できる！



クーポン
一覧

- 三井アウトレットパーク滋賀竜王
- 肉のげんさん
- アサヒメガネ
- 永源寺温泉八風の湯
- 塚本楽器
- 近江牛焼肉 霜月

※利用条件などの詳細は各クーポンページをご参照願います。※令和5年3月1日時点

クーポン
例

三井アウトレットパーク滋賀竜王 肉のげんさん



当日から使える
スペシャルクーポン

100グラム500円以上の
牛肉を3,000円(税別)以上
お買い上げて10%オフ



会員登録またはログインしてサイトを
利用するだけで会員ポイントが貯ま
ります。詳細はサイトへアクセス！

クーポンは
随時更新！



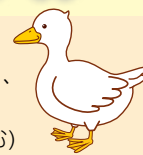
家きんを飼っている方へのお願い!!

近年、国内で発生が多発している高病原性鳥インフルエンザは、家きんに対して伝染力が強く、死亡率の高い伝染病であり、まん延を防止するためには、日頃の飼養衛生管理と地域での防疫対策が重要です。

家きんを1羽でも飼養している方は、毎年2月1日現在の飼養状況などを報告するとともに、**飼養衛生管理基準を遵守する義務があります**ので必ず報告をお願いします。

家きんとは？(以下のとおり)

- 鶏 ●あひる(マガモ、ガチョウ、アイガモ、フランスガモを含む)
- うずら(ヨーロッパウズラを含む)
- きじ(ヤマドリを含む) ●だちょう(エミューを含む)
- ほろほろ鳥 ●七面鳥



「飼養状況等の報告」

の詳細に
ついては
こちら→



詳しくは
こちら→



☎ 県家畜保健衛生所 TEL 0748-37-7511 E ge37@pref.shiga.lg.jp



VOL.42

滋賀県知事
音月大造



日本一の長寿県・滋賀！
自分らしく、健やかに、
朗らかに。

さあ、湖国も春本番！
草木が萌え、花が咲き、鳥も賑やかな季節です。皆さま、いかがお過ごしですか？

卒業や入学、就職や退職など、春は「別れと出会い」の季節。いろいろなことを思い出しますね。「今」を、「縁」を、大切にしたいと思います。昨年末に公表された統計で、滋賀県は平均寿命で男性が一位、女性が二位！全国トップの長寿県として注目されています。

喫煙率が低いことや塩分摂取量が少ないことなどが関係していると言われます。県民の皆さんの意識と実践はもちろん、医療・福祉関係者や健康推進員の献身的な活動の「おかげさま」でもあります。

乗り越えてシン・ジダイへ! ~みんなでつくろう! 「健康しが2.0」~



昨年の夏、沖島で漬けた自作の「ふなずし」です!

県広報誌「滋賀プラスワン」は、点字版・音声版でも配布しています。音声版の「みんなでプラスワン!」のコーナーは三日月知事の朗読によりお聞きいただけます。

レイカディア大学での学び、シルバー人材センターでの活動や、子どもの安全見守りなど地域ボランティアなど「社会活動が活発」であることも自慢です! この時期、各地で行われる地域の「お祭り」も大切ですね。「お互いさま」で、みんなで支え合う滋賀を大事にしていきたいと思っています。

美味しい近江米、近江の野菜、近江の茶、近江牛、湖魚…。滋賀育ちの魅力的な食材と、その背景にある豊かな自然環境。「ふなずし」などの湖国独自の発酵食文化も「誇り」です(近江のなれずし製造技術が国の無形民俗文化財に登録予定!)。

【シン・ジダイの健康しが】は、足の、日々のわたしたちの暮らしを見つめ直すことから始まる! と、私は確信しています。

皆さん、がんばりましょう!

ほっとサロン プレゼントコーナー

本誌へのご意見・ご感想、県政へのご意見などをお寄せください。抽選でプレゼントが当たります! 応募はお一人様1回まで。(複数応募は無効)

応募締切
3月22日(水)
当日消印有効

520-8577
滋賀県広報課
滋賀プラスワン
3・4月号
ほっとサロン係

- ・3・4月号のご感想
- ・県政についてのご意見
- ・希望のプレゼント番号(1つ)
- ・郵便番号・住所
- ・氏名・年齢
- ・電話番号
- ・匿名希望の有無

はがき、メール(plusone@pref.shiga.lg.jp) 右記の内容を記入してください。

インターネット 県ホームページまたは滋賀モバイル県庁(右の二次元コード)の「しがネット受付」からご応募ください。



1 JPさん サイン入り色紙

2ページにご登場いただいた、ものまねハンサムコメディアン JPさんのサイン入り色紙です。

※写真はイメージです。



2 牛鍋ハンバーグ (4個入り)

牛鍋風味のハンバーグです。牛肉の旨みを高品質冷凍で閉じ込めているので、焼き上がってすぐのおいしさやよらかさをお楽しみいただけます。



※写真はイメージです。

3 チーズ詰め合わせ

3ページで紹介した、チーズ職人つや子さんが作るチーズの4種セットです。製法によって異なる風味をお楽しみください!



※写真はイメージです。

4 洋風どら焼き(8個入り)

こだわりの自家製の餡と生クリームをサンドした、ひんやりと冷たい洋風どら焼きです。デザートにいかがですか?

※写真はイメージです。



5 空気急須

哺乳瓶と同じ素材を使った、軽くて丈夫な透明の急須です。日常使いしやすいシンプルなデザインです。

※写真はイメージです。



6 うおーたん 折りたたみエコバッグ

小さく折りたためるエコバッグです。コンパクトサイズでお買い物に持って行きやすい優れものです。

※写真はイメージです。



たたんでコンパクトに

お寄せいただいたご意見を本誌などで紹介させていただくことがあります。個人情報の取扱いについては「滋賀県個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なおプレゼント発送のため、個人情報を商品取扱事業者に提供します。あらかじめご了承ください。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

県広報誌「滋賀プラスワン」は年6回(奇数月)の発行で、3・4月号は4万1000部作成し、県内に新聞折込配布しています。県のホームページでもご覧いただけます。郵送をご希望の方点字版・音声版(CD版)の申し込みは県庁広報課までご連絡ください。次回の発行は5月16日の予定です。



滋賀プラスワンは左記施設に配置しています
県内の市町役場、図書館、県立施設などの公共施設、郵便局、銀行、美容院、理容店、大学、JR琵琶湖線や近江鉄道などの主要駅、平和堂、イオンファミリーマート、セブンイレブン、ローソンの部など

あなたも、わたしもシガリズム
～みんなでつくろう! 健康しが

滋賀 プラスワン **1**

Vol.202 **3・4** 月号
令和5年(2023年)

令和5年(2023年) 3・4月号
令和5年3月1日発行
滋賀県知事室広報課
〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL 077(528)3041
FAX 077(528)4803
Eメール koho@pref.shiga.lg.jp
ホームページ
<https://www.pref.shiga.lg.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した再生紙、植物油インキを使用しています。